

テーマ：『 EM を活用した環境にやさしいプール清掃 』

伊勢原市立 緑台小学校

Tel. 0463-93-4717

担当者： 安倍 正弘



■**実践内容：** 毎年行っているプール清掃を安全に効率良く行うためにEM(有用微生物群)を活用することを考えた。EMとは乳酸菌、酵母、光合成細菌を主体とする有用な微生物の共生体で農業、畜産、水産、環境浄化、土木建築など様々な分野に利用可能な多目的生物資材である。このEMをプール清掃の一ヶ月程前に300L投入。一ヶ月後に清掃したところ例年に比べ、ヘドロや藻、悪臭が少なく、ヌメリも付きにくく、清掃がとても楽になった。そこで、教育委員会に予算化してもらい、市内の小中学校全部にEMを配布し活用してもらうことにした。

■**実践成果：** <EMの効果>

- (1) プール汚泥の悪臭がない。
- (2) 作業の安全性・・・プールの底のヘドロやヌメリが減少し、安全に作業ができる。
- (3) 清掃時間の大幅な短縮・・・洗剤なしでも汚れが落ちやすく、軽くこすって流すだけで、時間を短縮できる。
- (4) 環境学習・・・洗剤によるプール清掃が河川や海に与える影響等、環境に対する知識を広げることができる。
- (5) 薬品ではないので安心・・・微生物による自然の力を利用するため、環境汚染や健康被害がない。

■**実践ポイント：** <EM投入時期と投入量>

<シーズンが終わった秋> EMを100～150L投入。落ち葉や底のヘドロなどが分解される。

<シーズン前の春～初夏> 清掃予定日の一ヶ月以上前にEMをプールに150L投入。前年秋にEMを入れておかなかった場合は2倍の300Lを投入。清掃はブラシでこすって簡単に洗い流せる。